

## 泌尿器悪性腫瘍術後生存率 (1998 - 2007.3)

膀胱全摘症例 (尿路変更術による比較)

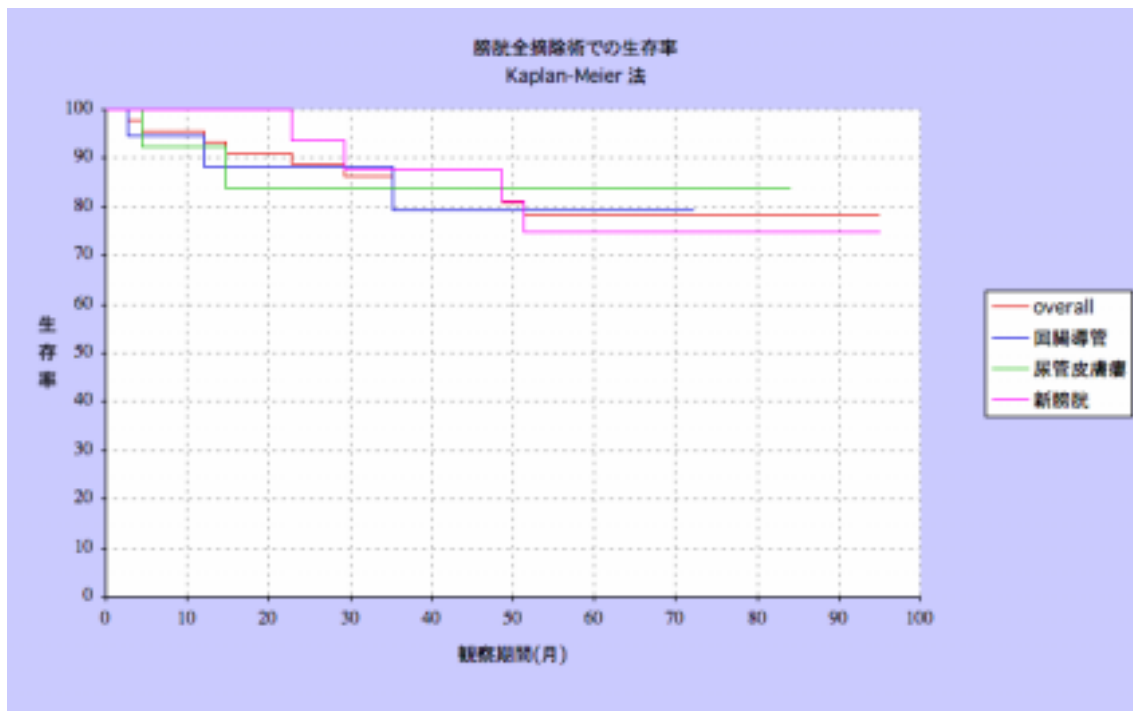
膀胱全摘術 + 尿路変更術: 47 例 : 5 年生存率 78 %

回腸導管造設術 (18 例) : 5 年生存率 78 %

尿管皮膚瘻造設術 (13 例) : 5 年生存率 83 %

新膀胱形成術 (16 例) : 5 年生存率 75 %

尿路変更術による生存率に有意差を認めず



## 腎盂尿管腫瘍症例における腎尿管全摘術後の生存率

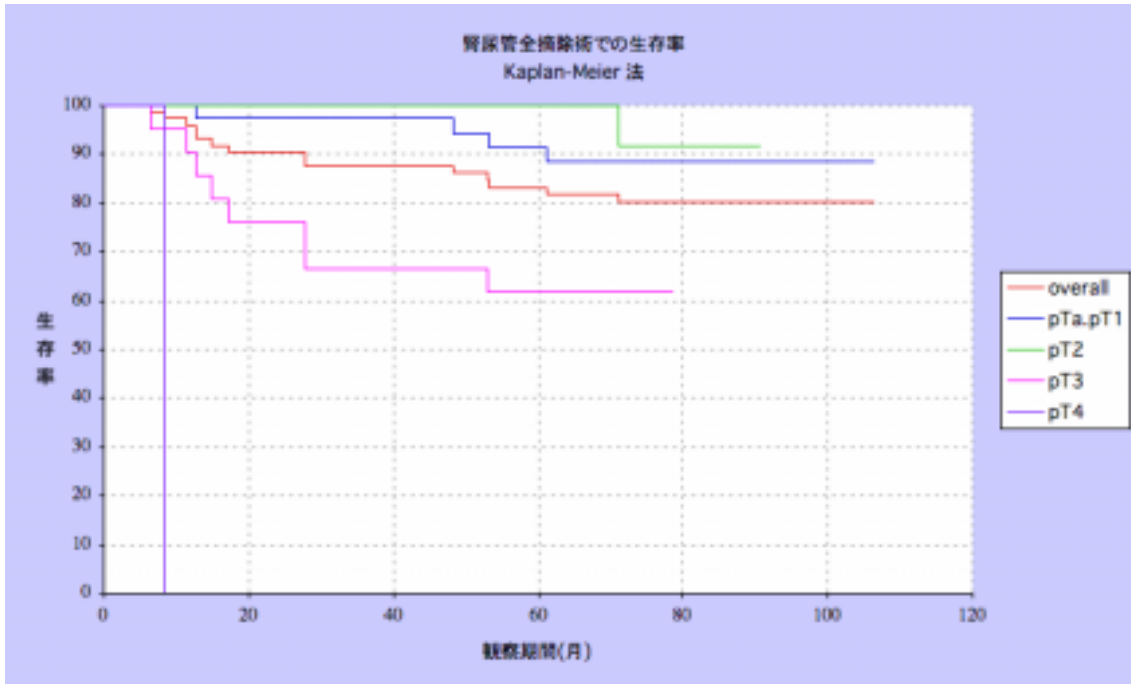
### T分類による生存率

症例数:80例 5年生存率;83%

pTa 19例, pT1 21例, pT2 15例, pT3 23例, pT4 2例

それぞれの5年生存率;

pTa, pT1 91%, pT2 100%, pT3 23%, pT4 0%

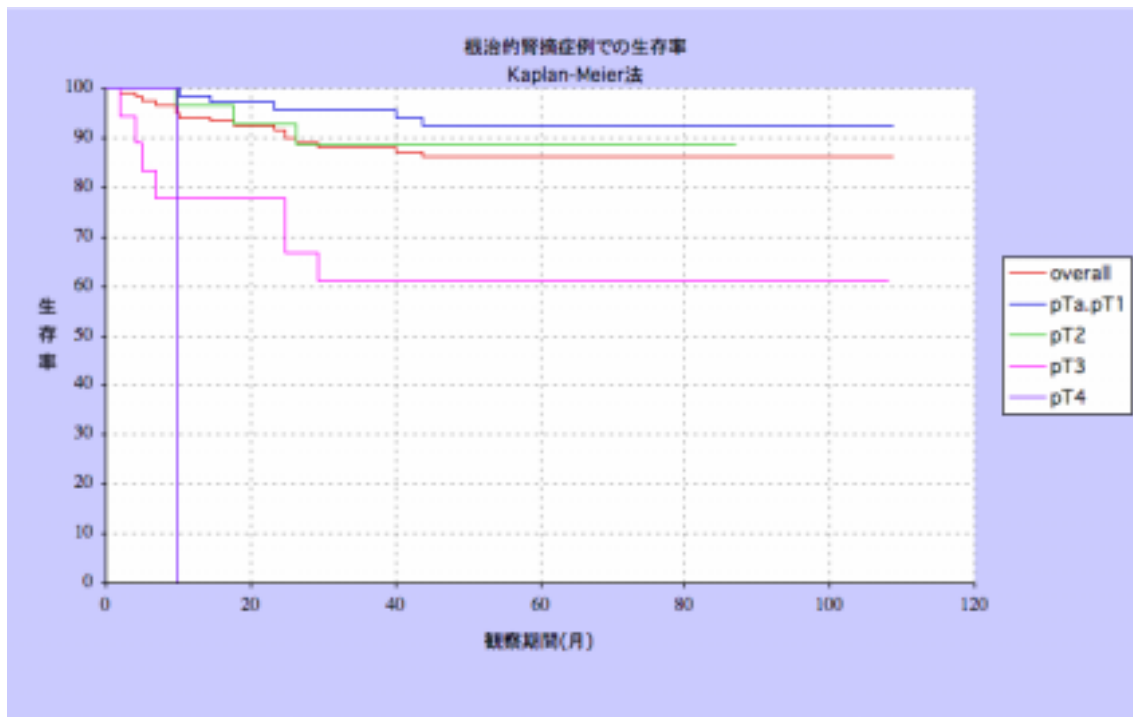


腎悪性腫瘍症例での腎摘出術後の生存率:有意差あり

症例数:120例 5年生存率:86%

pT1 72例, pT2 29例, pT3 18例, pT4 1例,

pT1 92%, pT2 87%, pT3 61%, pT4 0%



前立腺癌症例での根治的前立腺全摘術後の生存率:有意差なし

症例数:149例 5年生存率;79%

pT2 80例, pT3 69例

pT2 89%, pT3 76%

